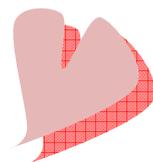


心と心のふれあいのある人間的な医療がここに 있습니다。
ひとりひとりが宝もの。あなたとの出会いを待っています。



院長ご挨拶



平成 27 年
新病院開院です！

今、看護の道を目指して一生懸命勉学に励んでいらっしゃる皆さんに、常滑市民病院を紹介させていただきます。

当院は約 250 床の総合病院ですが、今は建物も古く、新しく設備の整った大きな病院と比べると見劣りするのとは否定しません。しかし、内容的には大病院に負けないレベルを追求して、毎日頑張っています。位置づけとしては二次病院ですが、内容は三次に近い二次+αの病院だと自負しています。医局は大きな一つの部屋になっていて、科を越えて連携が良いのも特徴だと思います。問題症例があれば、内科外科の垣根無く、皆で検討しようという雰囲気があります。まとまりが良いから、少ない医師数にもかかわらず年間 2000 件近い救急車を断らずに受け入れて、常滑市の地域医療を支えることが出来ていると思います。

決して派手ではありませんが、皆で協力してコツコツ、しっかりと良い医療を提供しています。

皆さんが私たちと一緒に、常滑市の地域医療を担って頂けたら、こんなにうれしいことはありません。ぜひ一度当院を見に来てください。

院長 中山 隆

看護部長ご挨拶



常滑市民病院看護部は、「おもてなしの心」を大切にしています。「おもてなしの心」とは、対象を差別することなく、「自分を愛するように人を愛すること」であり、対等な立場で相手を尊重し、心の交流を行うといった意味があります。

看護部では、ひとりひとりが大切にされていると感じられる職場環境づくりを重視し、人材育成・経営改善・接遇の三本柱の目標を立て「地域の人たちに愛される市民病院」を目指しています。

人材育成では、新人看護師のO-テーション研修を一早く取り入れ、O-テーション研修終了後に新人看護師自らが職場を選ぶシステムをとっています。新人看護師が職場を選ぶシステムは、新人看護師たちに好評であると同時に、各職場も新人看護師に選ばれたため、職場環境を整えるといった相乗効果をあげています。

人間関係のよい職場を基盤としてこそ、看護師たちは患者様の心に寄り添い共感し心温かな看護ができます。自院では、アットホームな職場環境を背景に看護師の定着力もよく、7:1 看護も所得しています。中規模病院の良さでもある、顔が見え、自分の思いを提言でき共に成長し合える環境の中で一緒に働きませんか？

認定看護後管理者 久米淳子